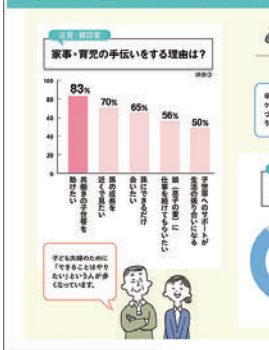


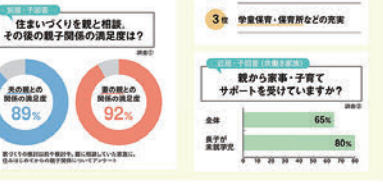


# 「共働き」「親との距離」… 住まいと家族の“いまどき”事情

夫婦がともに働きながら、生活や子育てをする共働き家庭が増えている。世帯に子育てに忙しい共働き家庭の「実際のところ」や、親からのサポートをどうしているのかなど、データを詳しく見て、「親子コラボ」のメリットが浮かび上がってきた。



「空間を上手に分ければ、心の距離は近づきます」  
「二世代住宅の工夫」  
① 階ごとに別々の親子コブ  
② 二階で食事できる大きなダイニングテーブル  
③ 親子コブを共有するリビング・キッチン設計



### データで見る、親との協力と子育て

「共働き」世帯が増えるにつれて、子育ての負担を軽減するために、親からのサポートが求められるようになった。特に、祖父母からのサポートは、子育ての重要な役割を果たしている。祖父母からのサポートは、子育ての負担を軽減するために、親からのサポートが求められるようになった。特に、祖父母からのサポートは、子育ての重要な役割を果たしている。

### エコな住まいに、新しい補助制度を受け中

子育て世代の住宅に、環境に優しい「エコ住宅」が注目されている。政府は、エコ住宅の普及を促進するために、新しい補助制度を導入した。この制度は、エコ住宅の購入に際して、最大500万円の補助金が受けられる。これは、子育て世代の住宅に、環境に優しい「エコ住宅」が注目されている。

キーワードは「親子コラボ」  
旭化成ホームズのノウハウで、今の時代に合った住まいづくりを

「親子コラボ」のきっかけについては、12月2日(金)掲載記事の後編より詳しく紹介します。

旭化成ホームズ 代表取締役社長 水戸野 隆夫



# 共働き家族の住まいづくり 親子コラボで「子育て」も「絆」も 高まる満足度

共働きが増えるなか、「親子コラボ」という住まいの選択が注目されている。「二世代住宅」「近居」「遠居」と、家族に合った距離感を保ちながら、親世代と子世代が協力し合って、生活や子育てを楽しくしていくという考え方が、旭化成ホームズ「暮らしソリューション研究所」共働き家族研究所の本声戸野所長にうかがった。



「空間を上手に分ければ、心の距離は近づきます」  
「二世代住宅の工夫」  
① 階ごとに別々の親子コブ  
② 二階で食事できる大きなダイニングテーブル  
③ 親子コブを共有するリビング・キッチン設計

「親子コラボ」のきっかけについては、12月2日(金)掲載記事の後編より詳しく紹介します。



親子コブが 成功者の声  
子育ての親  
「親子コブ」のメリットを最大限に活用して子育てをしています。  
● 大勢で遊ぶと、いつもより楽しく感じます。  
● 子どもが自由に遊びたい場所が広がりました。  
● 自由に遊べる場所が、家族みんなで共有しています。  
● 自分が働きやすくなる子ども部屋にしたいと考えています。

親世代の声  
「親の成長を支援することができると感じます。  
● 自分の子育て期には経験していないような発見がありました。  
● 子育ての手伝いもすることで、生活が楽になりました。  
● 一緒に過ごすことで、絆が深まりました。楽しい時間が増えました。  
● 絆が深まることで、子育てが楽しくなりました。

旭化成ホームズ 代表取締役社長 水戸野 隆夫

HEBEL HAUS 共働き家族の家づくり GOLD BOX プレゼント!  
夫本 専本 親子コラボ GOLD BOX 親子本  
0120-917-555 FAX:03-3344-7049

HEBEL HAUS 共働き家族の家づくり GOLD BOX プレゼント!  
夫本 専本 親子コラボ GOLD BOX 親子本  
0120-917-555 FAX:03-3344-7049